

環境コミュニケーション

三菱電機は、グループ全体のすべての活動を通じたサステナビリティの実現への貢献と、ブランド価値の向上・ステークホルダーの満足度向上に向けた戦略的なコミュニケーションを推進するため、社長直轄の組織である「コーポレートコミュニケーション本部」を2021年度に新設しました。この組織は、サステナビリティの企画・推進と広報、宣伝に関する機能を一元的に統括する役割を担います。引き続き、ウェブサイト、SNS、ショールームなどの情報媒体や、国内外で実施する環境イベント、展示会などを通じて、三菱電機グループの環境への取組に関する内容を広く発信していきます。

1. TCFD 提言に沿った情報開示

三菱電機は、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosures) の提言に賛同しており、TCFDの提言に沿って、気候変動関連情報を開示しています。

→TCFD 提言に沿った情報開示の詳細はP.7「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に基づく開示情報」を参照ください。

2. 調査機関に対する対応

三菱電機は、CDPを始めとする調査機関や媒体社からの環境への取組に関する調査依頼に積極的に応じ、バリューチェーンにおける様々なデータや取組を回答しています。

3. 業界団体への参画

三菱電機は、経団連や電機・電子業界の団体への参画を通じ、環境問題解決に向けた取組の実施や意見発信などを行っています。

4. 地域でのコミュニケーション

三菱電機は、「里山保全プロジェクト」や、「みつびしでんき野外教室」などを通じ、自然に親しみ、自然を体感することにより「自然保護のために何が必要なのかを考え、自ら行動する人」を育成する取組を続けています。